



きむら ようこ 議員
木村洋子
(日本共産党)

問 子どもの医療費一部負担なくして

答 県内の状況を見て制度見直す

問 東日本大震災の被災自治体では、子どもの医療費は大多数のところで一部負担をなくしている。本町においても子どもの医療費負担をなくして子育て世帯の負担軽減を図るべきではないか。

佐藤町長 本町では現在、未就学児及び住民税非課税世帯の児童生徒の医療費を無償としているが、ここ数年、県内で18歳までの完全無償化が拡大している状況であるので、制度の見直しを進めていく。

問 新・道の駅への交通アクセスは

答 住民の意見踏まえ検討

問 新・道の駅“おいすた”が7月開業する。観光客はもちろんだが、町民にとっても楽しく憩いの場所になるのは間違いないと考えるか。

答 新・道の駅“おいすた”が7月開業する。観光客はもちろんだが、町民にとっても楽しく憩いの場所になるのは間違いないと考えるか。

答 新・道の駅“おいすた”が7月開業する。観光客はもちろんだが、町民にとっても楽しく憩いの場所になるのは間違いないと考えるか。



町の“活性化”と“憩いの場所”の期待が高まる
新・道の駅“おいすた”

町長 新・道の駅内に新たなバス停留所を設置し、「まちなか循環バス」などの乗り入れを本年8月1日から開始するので、高齢者も利用しやすくなると考えている。

問 コミュニティバスを新・道の駅経由にしたり、土、日曜日には“お買い物バス”等を走らせてほしいが。

町長 「コミュニティバス」の乗り入れと「お買い物バス」の導入は、現時点では計画はないが、本年度「山田町地域公共交通計画」の見直しを行う。アンケート調査や地域別懇談会を実施する予定であり、住民からの意見などを踏まえ検討する。

問 共益費の負担軽減策は

答 引き続き負担軽減に努める

問 災害公営住宅の入居者から共益費の負担が大きいとの声が聞かれる。特に、電気代は原油価格の高騰もあり、今後も家計に重くのしかかってくると思われる。災害公営住宅にはひとり暮らしの高齢者が多い実態がある。他の自治体では共益費を無料にする動き

町長 照明器具のLED器具への更新や、浄化槽の電気料金の一部及び保守点検等の費用を町が負担していくことで、引き続き入居者の共益費の負担軽減に努める。

その他の質問

◆加齢性難聴者への補聴器購入の助成は